

第17回 縄文楽検定 上級 解答集

令和7年4月作成

テキストから約70%の出題でした。テキストの略称は以下のとおりです。

テキストⅠ：縄文楽検定テキスト『縄文文化と火焰土器』（信濃川火焰街道連携協議会、平成21年3月刊行）
 テキストⅡ：縄文楽検定テキストⅡ『信濃川火焰街道 縄文の旅』（信濃川火焰街道連携協議会、平成23年12月刊行）
 『あ、コレ知ってる！』：新潟県立歴史博物館編『あ、これ知ってる！はにわ どぐう かえんどのきの昭和平成』（新潟日報事業社、令和元年8月刊行）。
 日本遺産ガイドブック：『日本遺産「なんだ、コレは！」信濃川流域の火焰型土器と雪国の文化』ガイドブック
 （信濃川火焰街道連携協議会、令和3年度改訂版 ※平成28年度版とは頁数が異なるので注意）
 『信濃川火焰街道連携協議会ガイドブック vol.6』（信濃川火焰街道連携協議会ホームページ）

No.	解	問題の出典と解説
1	d	テキスト外 守門岳1,537m、弥彦山634m、権現堂山（上権現堂山997m、下権現堂山896m）、浅草岳1,585mですので、浅草岳が最も高い山となります。
2	a	日本遺産ガイドブック・巻末「構成文化財一覧」
3	d	テキスト外 a):本州を中心に旧石器時代の古い時期に刃部磨製石斧が出土します。b):例えば大阪平野では、沖積地に旧石器時代の遺跡が見つかっています。c):ナイフ形石器は旧石器時代の代表的な石器で、槍先や削る時に使う石の道具です。d):新潟県を含む関東・中部地方でも旧石器時代の遺物はローム層から出土しています。
4	d	日本遺産ガイドブックp17～20 a):日本遺産ガイドブックp17、b):日本遺産ガイドブックp17、c):日本遺産ガイドブックp18、d):日本遺産ガイドブックp19正解は「二つで一つの縄文思想」です。
5	b	テキストⅠ p8
6	b	『あ、コレ知ってる！』p52
7	c	『あ、コレ知ってる！』p71
8	c	テキストⅠ p8など
9	c	テキストⅠ p9～10
10	c	テキスト外 糸魚川市大角地（おがくち）遺跡で約7,000年前のヒスイ製のハンマーが見つかっています。
11	c	テキスト外 土器の器壁をシリコン・ゴムで型取りし走査型電子顕微鏡で観察する「レプリカ法」という方法で調べます。a):昆虫にはドングリを食べるコクゾウムシなどが多く見つかっています。b):マテバシイなどドングリ類がみつかっています。C)トウモロコシは中南米原産で日本には16世紀に伝来し、縄文時代には食べられていません。d)::ダイズ類やアズキ類が見つかっています。
12	d	『あ、コレ知ってる！』p105
13	a	『あ、コレ知ってる！』p154～158
14	b	テキストⅠ p40 文献タイトルからの出題です。
15	b	テキスト外、『県の石 翡翠ーまるごとガイドブッケー』p6 『珠玉の国 新潟 ヒスイ、青玉、赤玉、』p69（県内最大のみ） 富山県氷見市朝日貝塚:長さ15.9cm・470g＊国内最大 見附市耳取遺跡:長さ10.6cm・175g＊県内最大
16	a	テキストⅠ p20

17	c	テキスト外 a):高床式住居(高床になっています。)、b):円形の竪穴式住居、c):長方形の竪穴住居、d):近世の茅葺の民家(津南町歴史民俗資料館に展示)
18	a	日本遺産ガイドブックp32
19	a	日本遺産ガイドブックp32
20	b	日本遺産ガイドブックp32
21		テキスト I p5・6など (解答例) 「火焰土器」は、長岡市関原1丁目の馬高遺跡で、昭和11年(1936)に地元関原町の考古学研究者・近藤篤三郎が発見した、と伝わる。口縁の大きな突起の部分が燃え上がる炎を思わせることから、その名称で呼ばれるようになった。「火焰土器」はこの1個の土器につけられた愛称で、それ以外の仲間は「火焰型土器」と呼ぶ。＊150字
22		テキスト I p4など (解答例) 竪穴住居は、見晴らしの良い高台に複数で存在する。その配置は規則性があり、竪穴住居の棟軸が放射状になることから環状集落と呼ばれる。集落の中心に広場が設けられ、その周りに墓域が確認されることもある。竪穴住居の床面中央部に石囲い炉が作られ、火種甕として埋設される土器は住居のほぼ中心部に配される。＊146字
23		テキスト I p21～23など (解答例) 石器群の特徴として狩猟具は弓矢の石鏃があり、凹基型である。加工具の磨製石斧の大半は、糸魚川市姫川周辺から産出する蛇紋岩(「透閃石」でも可)製で、打製石斧に短冊形と撥形、一部に分銅形がある。漁労用の錘と考えられる石錘の出土は稀である。一部の集落では三脚石器と呼ばれる特異な石器が多数出土する。＊135字